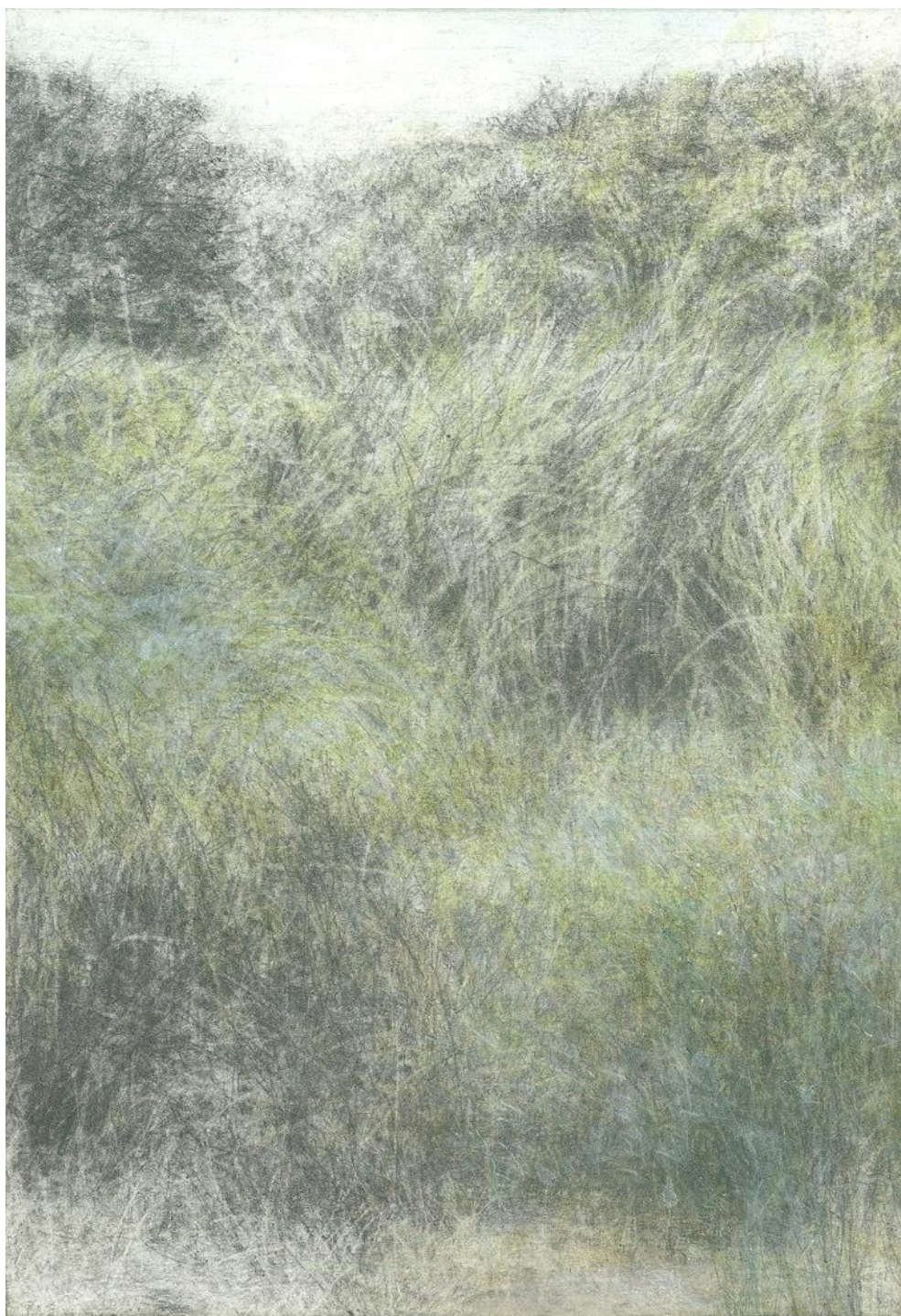


多 ま な び

 **放送大学** 東京多摩学習センターだより第22号 2018年10月発行



「多摩の風景5－夏の茅原－」 齋藤文孝

発行 放送大学東京多摩学習センター 〒187-0045 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL : 042-349-3467 E-mail : tama-sc@ouj.ac.jp URL : <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

新任のご挨拶



東京多摩学習センター客員教授

こ み まさのぶ
五味 政信

2018年8月より東京多摩学習センター客員教授を務めています。どうぞよろしくお願い致します。今年度は2つの面接授業、「ベトナム語の初歩：文字と発音編」「外国語としての日本語」を担当しています。

ベトナムのハノイ貿易大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学などで、外国人・留学生に対する日本語教育に38年間従事してきました。また、1998年以降、一橋大学はじめ幾つかの教育機関でベトナム語教育にも携わってきました。

私が大学に入学した1970年代初頭はベトナム戦争の時代でした。独立と自由を守るために、世界最強のアメリカと闘うベトナムの姿が連日メディアで報じられていました。「自由とは何か」「国家の独立とは何か」「社会主義とは？」といったことがらをベトナムを通して考えていたのが私たちの世代です。本や雑誌で読んだ、写真集で見たベトナムを訪ねてみたい、ベトナムの空気を吸ってみたいと願い、やがて日本語教師として2年間ハノイで生活する機会を得ることになりました(79～81年)。

これまでの私の人生から、「にほんご」の4文字と「ベトナム」の4文字をとってしまったら、残るのは数少ないかもしれません。日本語教育とベトナム語教育を実践し、そのために日本語、ベトナム語の文法則やことばの使い方の規則について考える、そんな作業を30年以上続けてきました。この作業が楽しく、生活の一部となってきました。ことばについて考えることが性に合っていたのだと思います。

私にとっての「楽しさ」とは、例えば次のようなことです。ベトナム語を学習していると、幾つもの「子ども」に当たる語にぶつかります。それらの用例を集めてみると、「子ども」に当たる語が少なくとも5つあり、それらの使い分けについて次のように整理することができます。

まず、不特定多数の子どもを指す場合[A]と、特定の子どもを指す場合[B]を区別します。前者をさらに2つの場合に、後者を3つの場合に区別します。

[A-1]不特定多数の一般的な子どもを指す場合(子どもは無邪気なものだ)の「子ども trẻ con」、[A-2]不特定多数の子どもで、父母との関係の中で捉えられる子ども(子どもは親孝行すべきだ)の「子ども con cái」、[B-1]特定の子どものみで、血縁関係の中で捉えられた子ども(太郎は田中さんの子どもじゃないらしい)の「子ども đứa con」、[B-2]血縁関係を意識しない特定の子どものみ(あそこで泣いてる子ども、迷子になってるんじゃない?)の「子ども đứa trẻ」、[B-3]大人と対比した場合の子ども(<この美術館の>子どもの料金は大人の半額だ)の「子ども trẻ em」。これらの語をベトナムの人たちは意識せずに使い分けていて、これら5語の区別については彼らの国語辞典にも詳細には記述されていません。このような言葉の背後にある規則について、どうなってるんだろう?と思いを巡らし試行錯誤すること、これが私にとっての楽しみの一つです。疑問に出会い、出口が見えずに苦しみながら、幸運にも規則性に思い至ることができた時には、辿り着いた規則性が誤解でないことを祈りつつ、この上ない幸福感に浸ることができます。

そんな言葉を巡る楽しみ、そして語学を教える楽しさ、そんなことを学生の皆さんと話し合い、共有することができたらと願っています。

【参考書籍】

五味政信著『五味版 学習者用ベトナム語辞典』武蔵野大学出版会、2015

五味政信・石黒圭編著『心ときめく オキテ破りの日本語教授法』くろしお出版、2015

五味政信著『ベトナム語レッスン初級1』『同 初級2』スリーエーネットワーク、2005、06

松岡弘・五味政信編著『開かれた日本語教育の扉』スリーエーネットワーク、2005

2018年春の所長表彰



2018年4月7日（土）、東京多摩学習センター所長表彰が行われ、対象者59名のうち17名が出席されました。ご卒業・ご受賞、誠におめでとうございます。

<受賞者からのメッセージ>

- ・生涯学習奨励賞をいただき、ありがとうございます。放送大学に入学し、22年が過ぎました。平成18年に一度卒業しましたが、脳の老化防止にと、マイペースで続けてきました。大学に入学しなければ知らなかった世界のことをたくさん知ることができました。
- ・この度「成績優秀者賞」を賜り、誠にありがとうございます。7年間の長きに渡り、諸先生方のご指導、事務方諸氏のご計らい、家族からの支援、そして自ら学ぶ楽しさがあったからこそ達成出来たことは、忘れてはいけないと思います。
- ・この度の受賞は身に余る光栄と感謝申し上げます。定年退職後、本学で学び始めてから未知の世界を知るワクワク感に導かれて今日に至りました。ガンを発症してからも学びへの思いは変わらず、むしろ勇気と希望を持って生きていくことが出来ました。
- ・今回、生涯学習奨励賞をいただきまして、ありがとうございました。子供の頃から飽きっぽい私が、9年間も放送大学で学べたことは大きな自信となりました。6つのコースの折り返し地点の今、あと3つのコースを2年ずつで卒業し、名誉学生になることが次の目標です。
- ・生涯学習奨励賞の受賞に感謝申し上げます。定年退職後、心理学分野を学び直したいという動機で入学したのが、自分のふりかえりとなり、学歌のように「生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ」を実感する日々です。

2018年度第1学期入学者の集い



2018年4月7日（土）、2018年度第1学期入学者の集いが行われ、東京多摩学習センター所属の入学者1055名のうち125名が出席されました。ご入学誠におめでとうございます。

<参加者からのご感想>

- ・今回参加させて頂き、頑張ろうと意欲が湧いてきました。個人での勉強が主になると思うので、計画的に学習して後々に困ることがないようにしていきたいと思っています。よろしくお願いします。
- ・先生方やスタッフの方の温かい雰囲気がとてもありがたく感じました。出席してよかったと思いました。
- ・限られた科目のみの履修ではありますが、入学をきっかけに様々な興味が広がればと思います。
- ・途中であきらめしないで、卒業できるように努力したいと思いました。
- ・所長表彰を受けた方の話を聴くことで、放送大学で学べることの幸せを感じました。また、生涯学習の意味を再確認出来た様に思えます。

公開講演会『薬物治療の基礎と新規薬物開発』



2018年8月19日（日）、東京多摩学習センター
客員教授の大谷啓一先生による公開講演会『薬物治療の
基礎と新規薬物開発』が開催されました。

<参加者の感想>

- ・薬物に対する知識を改めて学べて良かったです。
- ・難しい講演内容でしたが、あっという間に終了時間になってしまいました。思わず引き込まれるお話でした。
- ・薬物には興味があったので、無料で講義を受けることが出来て、とても為になりました。
- ・薬物に関して深く考えたことは無かったので面白かったです。副作用と主作用の逆転を利用するお話はとて

も興味深かったです。

- ・医薬品の全体像を再確認できた。
- ・薬品について多面的な問題があることがわかりました。特に薬の作用は複数あることがわかりました。
- ・網羅的、立体的ながら分かりやすいお話、明確なレジュメ（教材）を活用してのお話で、初心者でも理解できたような気がします。
- ・今後も今回のような薬物・病態に関する講演を増やしてほしい。
- ・濃い内容をわかりやすく話していただいたので良かったです。できれば面接授業を取りたいと思います。

公開講演会『日本人の自尊感情—文化心理学・発達心理学の視点から—』



2018年9月2日（日）、放送大学准教授の向田久
美子先生による公開講演会『日本人の自尊感情—文化心
理学・発達心理学の視点から—』が開催されました。

<参加者の感想>

- ・自尊感情についての認識を知り、また、日本人の自尊感情の低さについての秘密を知ることができて、とても良い機会となりました。
- ・自尊心が高すぎる場合のデメリットや低い場合のメリットを、文化の違いをからめて理解できてよかったです。
- ・大変興味深い内容で、とても面白かったです。年代、国別の違い、性別の違いでの自尊感情の高低についてもっと詳しく学んでみたいと思いました。

- ・自尊感情は高い方がいいと単純に思っていたのですが、日本の文化を肯定的に受け入れる姿勢、そのような視点からの見方はおもしろいと思いました。
- ・心理学研究のための調査の工夫や調査者のもつバイアスに目を向けているお話が興味深く思いました。
- ・広い見識を感じます。こんな講義は大学ならではの感じました。
- ・教員です。児童・生徒の自尊感情の低さが大きな問題となっていて、現場ではどちらかと言えば悲観的な見方が強いです。自己肯定感を高めるために何ができるか躍起になっています。でも、先生のご講演をうかがい、違う視点から考えてみると少し気持ちが楽になりました。

2018年度第2学期多摩ゼミ開講予定

2018年度第2学期の多摩ゼミ（東京多摩学習センターの所長・客員教員の指導のもと行われる自主勉強会）の予定をお知らせします。9月25日（火）（他SC所属学生は10月2日（火））より募集開始です。皆様のご参加お待ちしております。
※以下の内容は2018年9月6日現在のもので、詳細については別途、東京多摩学習センターのホームページ・掲示等でお知らせしますのでご確認ください。

◆ロシア文化史

講師：坂内 徳明 先生（東京多摩学習センター所長・一橋大学名誉教授）
開催日程：10月18日（オリエンテーション）・11月8日・22日・12月6日・20日
（全4回・木曜日）13:00～14:30
定員：8名

ゼミでとり上げるのは、分野はさまざまでも、ロシア文化に魅せられた何人かの偉大なロシアの人々の仕事と生き様です。18～20世紀のロシアについて考えることを通じて、現代の「われわれの文化」を改めて考察する手がかりになりますように！

◆「骨と歯の病気の薬物治療」アドバンスコース

講師：大谷 啓一 先生（東京多摩学習センター客員教授・東京医科歯科大学名誉教授）
開催日程：10月18日・25日・11月1日・8日
（全4回・木曜日）13:30～15:00
定員：4名
受講の条件：面接授業（平成29年度第2学期）「骨と歯の病気の薬物治療」の内容を深化したアドバンスコースになります。授業を受講した方が望ましいですが、未受講の方でも出席可能です。

骨と歯の病気と薬物治療の知識と現在問題となっている課題などについて勉強します。各受講生に課題を振り分けて検討していただき、発表、討論をします。実習教材や参考資料などはお渡しします。前回（平成30年度1学期）に行った内容と同じものになります。

◆計算折り紙の世界を覗く

講師：山崎 秀記 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学名誉教授）
開催日程：10月25日・11月1日・8日・22日
（全4回・木曜日）13:30～15:00
定員：10名
受講の条件：参考サイト「折り紙研究ノート」（筑波大学三谷純教授 <http://mitani.cs.tsukuba.ac.jp/origami/>）をご覧ください。その他：折り線を印刷した紙を切って使います。ハサミをお持ちください。

折り紙は、地図を一瞬で開くミウラ折りや缶酎ハイのダイヤカット、宇宙船イカロスの帆などにも応用されています。また、作りたい形から折り紙の折り線を計算する、従来の折り紙とは違った世界が最近目覚ましい発展を見せています。私もこの分野に詳しくはないのですが、皆さんと一緒に楽しく学んでいきたいと思っています。

◆教材選択の基準を考える

講師：五味 政信 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学名誉教授）
開催日程：10月17日・31日・11月14日・28日
（全4回・水曜日）15:00～16:30
定員：8名
受講の条件：現役、または元日本語教師の方を対象

ゼミ受講生には朝日新聞天声人語10編ほどを配布しますので、教材とするのに適切か否かを各編について判断していただき、ゼミ内でその根拠について話し合います（留学生の上級日本語クラスを想定）。その議論を通じて、「私たち日本語教師はどのような基準をもって教材の適不適を判断しているのか」について確認したいと思います（実際の教材作成も実施予定）。

◆『ベルリンの幼年時代』を読む（続）

講師：久保 哲司 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授）
開催日程：11月16日・30日・12月7日・14日・21日
（全5回・金曜日）11:00～12:30
定員：8名
テキスト：ヴァルター・ベンヤミン『ベンヤミン・コレクション3 記憶への旅』ちくま学芸文庫（各自ご用意ください）

本年度第1学期に引き続き、ドイツの思想家・文筆家ベンヤミンの『1900年頃のベルリンの幼年時代』を邦訳で読みます。苦難に満ちた人生を歩んできた男が子ども時代を回想した文章です。今学期は「幼年期の本」から始めますが、この著作は独立した短章からなっているので、先学期に参加されていなくても支障はありません。

◆『ダブリナーズ』を読む②

講師：金井 嘉彦 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院法学研究科教授）
開催日程：11月2日・9日・16日・30日・12月7日
（全5回・金曜日）15:00～16:30
定員：8名
テキスト：『ダブリンの人びと』米本訳、筑摩文庫（各自ご用意ください）

『ダブリナーズ』はジョイスが書いたもっとも初期の短篇集で、もっとも読みやすい作品群ですが、必ずしもわかりやすいとは言えません。そこになにを読み取るべきか、みなさんと熱く語りあえればと思います。今回のゼミでは、前回のゼミで読んだ「姉妹」「二人の伊達男」「土」「死者たち」以外を優先的に読みます。

◆プルーストを読む④

講師：中野 知律 先生（東京多摩学習センター客員教授・一橋大学大学院社会学研究科教授）
開催日程：10月25日・11月15日・12月13日
（全3回・木曜日）14:15～16:00
定員：12名
テキスト：マルセル・プルースト（吉川一義訳）『失われた時を求めて4 花咲く乙女たちの蔭にⅡ』岩波文庫（各自ご用意ください）

マルセル・プルースト(1871～1922)の小説『失われた時を求めて』第二篇『花咲く乙女たちの蔭に』の後半を「恋」のテーマを中心に3回で読み解きます。初回は、テキストとする岩波文庫のp.395～469を読んでご参加ください。

◆狂言「二人大名」「金岡」を読む

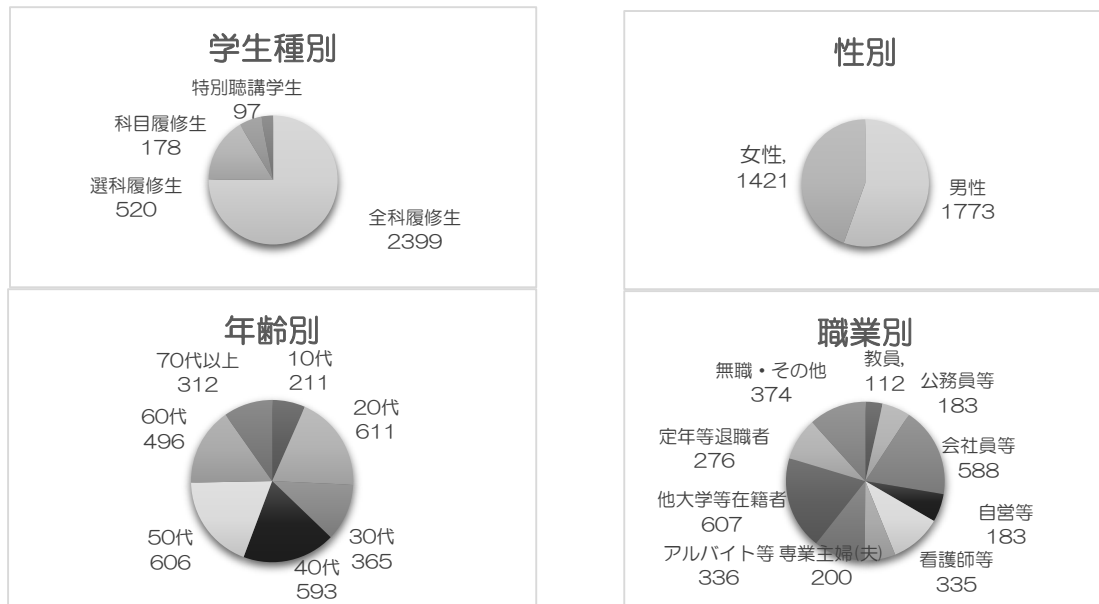
講師：姫野 敦子 先生（東京多摩学習センター客員准教授・清泉女子大学准教授）
開催日程：10月31日・11月7日・21日・28日
（全4回・水曜日）14:00～15:30
定員：8名

日本の伝統芸能の一つ、狂言を身近に感じるためのゼミです。狂言の古い台本を読んで、その演目のビデオを鑑賞します。今回の曲目は「二人大名」と「金岡」です。どちらも狂言歌謡が含まれ、中世の歌謡集『関吟集』とも関連が深い狂言です。

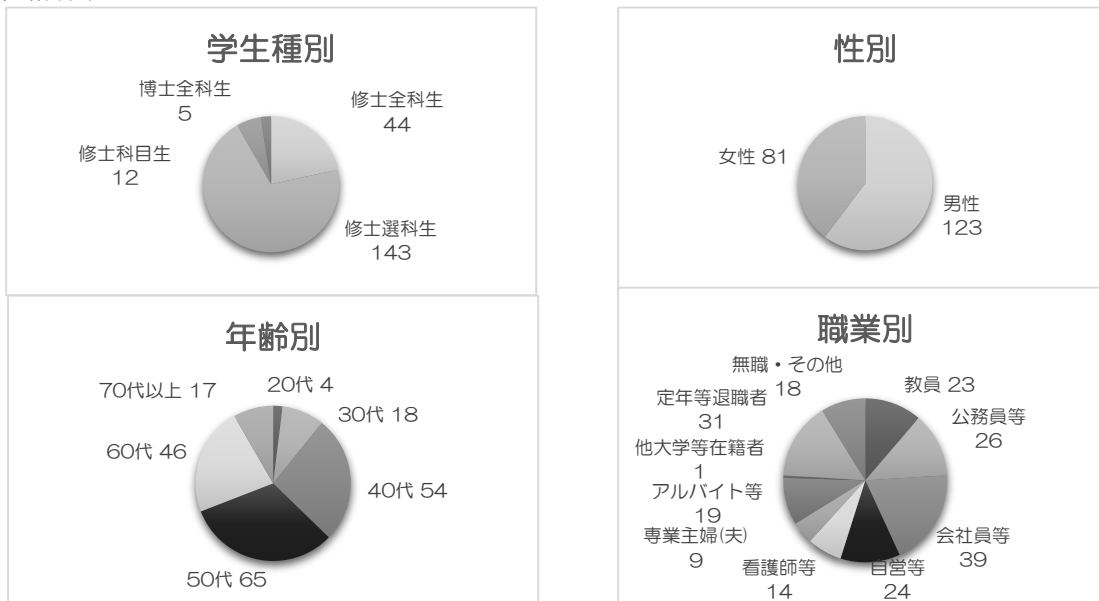
数字で見る東京多摩学習センター[2018年度第1学期]

(2018年8月26日現在)

＜学部＞在籍者数：3194人 ※集中科目履修生・看護、集中科目履修生・司書、教員免許更新講習生を除く



＜大学院＞在籍者数：204人



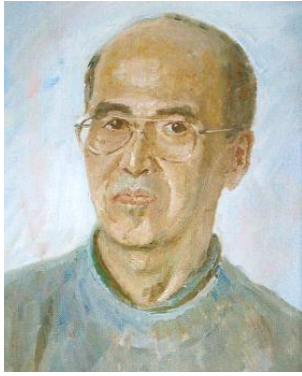
◆学生数の多い市トップ10◆

順位	市名	学生数
1	八王子市	590
2	小平市	245
3	所沢市	165
4	立川市	161
5	府中市	152
6	東村山市	140
7	国分寺市	136
8	日野市	116
9	小金井市	100
9	西東京市	100

※学部生・院生両方含む

◆登録者数の多い放送授業科目（学部）トップ10◆

順位	科目名	人数
1	英語事始め（'17）	357
2	日本語リテラシー（'16）	343
3	多様なキャリアを考える（'15）	239
4	健康長寿のためのスポーツロジ（'15）	232
5	心理学研究法（'14）	216
6	西洋音楽史（'13）	187
7	運動と健康（'18）	176
8	物質・材料工学と社会（'17）	172
9	生活における地理空間情報の活用（'16）	165
10	日本語とコミュニケーション（'15）	143



所長の迷想

東京多摩学習センター所長 坂内徳明（ばんない とくあき）

一年ぶりの8月のロシアでも（！）もう少しで熱中症になるところでしたが、日本では「異常」「記録的」にとどまらず、「これまで経験したことのない」「命を守る行動を！」といった表現まで登場しました。われわれの学びが社会のサステナビリティのパラダイム転換に不可欠であることを改めて肝に命じた今年の夏でした。

（セルゲイ・トカチェンコ作）

■新任職員ご挨拶

昨今の少子高齢化・情報化社会において“生涯学習”の理念が手のひらのスマホを通して日々の生活に高速で浸透しており、この社会情勢の中、今後は社会教育分野で学習支援がしたいという思いからこちらでお世話になっております。

学生さんたちの学習意欲に日々圧倒され、面接授業や単位認定試験、ゼミ、サークル活動など皆様のお勉強の支援をさせていただくことで大変充実しております。

今後は、多世代の方々のふれあいや助け合いの“居場所”として多摩地区の“知の拠点”となるように学習センターの整備に日々努めていこうと思います。

（教務係：猪狩）

4月から図書係として勤務しております藤川と申します。図書室からは窓の外に緑がとてもよく見え、気持ちの良い環境です。

皆様と図書室でお会いするのを楽しみに、仕事に励みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（図書係：藤川か）

4月より図書係でお世話になっております鈴木と申します。勤務してから5カ月が経ちましたが、皆様の学習意欲に刺激を受ける日々は今も続いており、学ぶことの大切さを実感しています。

少しでも皆様のお役に立てるよう、頑張ってみますので、どうぞお気軽にお声がけください。

（図書係：鈴木）

4月から図書室・視聴学習室で勤務しております藤川と申します。来室される利用者の皆様の学習意欲に自分自身が励まされる毎日です。

微力ながら皆様の学習の助けになれるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（図書係：藤川善）

■今号の表紙について

<作品詳細> 2018年、277×190、水彩紙、鉛筆、水彩

<作者> 東京多摩学習センター図書室・視聴学習室担当職員 齋藤文孝（さいとう ふみたか）

<絵について>

夏の谷戸の茅原を描いた。武蔵野台地には、かつて広大な茅の原野が広がっていたという。

人間が創り出してきたいっさいのものが文化だと学んだが、草屋根・畳・染料など、草の文化は実に多岐に渡り、人々は古くから豊かな草と深く関わってきた。

琳派の先人達は草を多く描いた。草の自然とその創造から学ぶ事は多い。

（図書係：齋藤）

【編集後記】

今年度第1学期、職員研修の一環として科目履修生になりました。1科目だけですが、放送大学の学生として学ぶことの楽しさや厳しさを実感できました。

学生になってみたことで得られた経験を、今後の日々の業務や機関誌「多まなび」編集に活かしていければと思います。

（総務係：小林）

2018(H30)年度第2学期カレンダー(教養学部・修士選科生・修士科目生)

注) 大学院修士全科生は『「研究指導」履修の手引』・博士全科生は『大学院博士後期課程履修の手引』と『学生生活の葉』をあわせてご参照下さい。

10月						
月	火	水	木	金	土	日
1 閉所日	2	3	4	5	6 大学院入試	7 入学者の集い
8 体育の日	9 臨時閉所日	10	11 学生研修旅行	12	13 たま祭	14 たま祭
15 閉所日	16	17 面接授業 空席発表	18	19	20	21
22 閉所日	23	24 面接授業 追加登録 抽選会	25	26	27	28
29 閉所日	30	31				

1月						
月	火	水	木	金	土	日
 元 旦	1	2 年始閉所	3 年始閉所	4	5	6
7 閉所日	8	9	10	11	12	13
14 成人の日	15 臨時閉所日	16	17	18	19	20
21 閉所日	22	23	24 試験(院・看護再)	25 試験(学部)	26 試験(院)	27 試験(学部)
28 閉所日	29 試験(学部)	30 試験(学部)	31 試験(学部)			

11月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 文化の日	4
5 閉所日	6	7	8	9	10	11
12 閉所日	13	14	15	16	17	18
19 閉所日	20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25
26 閉所日	27	28	29	30		

2月						
月	火	水	木	金	土	日
				1 臨時閉所日	2 試験(学部)	3 臨時閉所日
4 閉所日	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 臨時閉所日	13	14	15	16	17
18 閉所日	19	20	21	22	23	24
25 閉所日	26	27	28 2019年度第1学期 学生募集 第1回目×切日			

12月						
月	火	水	木	金	土	日
				2019年度1学期学生募集 受付期間 第1回目 12/1～2/28 第2回目 3/1～3/17		
3 閉所日	4	5	6	7	8	9
10 閉所日	11	12	13	14	15	16
17 閉所日	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日
24 閉所日	25	26	27	28	29 年末閉所	30 年末閉所
31 閉所日						

3月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2 教員免許更新 講習試験	3
4 閉所日	5	6	7	8	9	10
11 閉所日	12	13	14	15	16	17 2019年度第1学期 学生募集 第2回目×切日
18 閉所日	19	20	21 春分の日	22	23 学位記授与式 (NHKホール)	24
25 閉所日	26	27	28 図書室 閉 室	29 図書室 閉 室	30	31

(注)このカレンダーは2018年9月末時点のものです。日程等の変更があった場合は、学習センターHP・センター内の掲示板等でお知らせいたします。